

新庄市議会だより

No.147
2020.2.12

市民の皆様の声を 議会へ 市政へ 議会報告会を開催しました

12月定例会の議案……………P2

チョイス……………P4

この声届け！第14回議会報告会から…P10



12/2 | 関屋公民館

12/3 | 鉄砲町公民館

12/4 | 萩野地区公民館

各会場に多くの方が参加していただき、ありがとうございました。頂いたご意見を市政に反映させていきます。

【A班班長 佐藤卓也】



12/2 | 小泉公民館

12/3 | 末広町公民館

12/4 | 升形公民館

議会報告会に参加して頂きありがとうございます。皆さんの声をしっかりと受け止め、回答を求めて参ります。

【B班班長 小野周一】



12/2 | 川西町公民館

12/3 | 鳥越公民館

12/4 | 北町公民館

地域、地元の皆様の郷土愛がとても強く感じられ活発な意見が出され、とても有意義な報告会となりました。また、議員個人としても資質の向上を図り的確な答弁ができるよう頑張ります。

【C班班長 押切明弘】

詳しい内容はP10～11へ

12月定例会の経過

令和元年12月定例会では、報告1件を了承、条例改正および令和元年度各会計補正予算など29議案、さらに追加提案された職員給与条例の改正とそれに伴う一般会計補正予算等6議案を原案通り可決、議案第95号については否決とし閉会した。令和元年度一般会計の総額は191億8,255万円となる。

12月定例会で審議された議案等

12月定例会では、報告1件、議案36件、議案案1件が審議されました。

種類	番号	件名	結果
【市長提出】			
報告	第12号	損害賠償の額の決定についての専決処分の報告について	了承
議案	第68号	令和元年度新庄市一般会計補正予算（第3号）	可決
	第69号	令和元年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第70号	令和元年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第71号	令和元年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第72号	令和元年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	第73号	令和元年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第2号）	可決
	第74号	令和元年度新庄市水道事業会計補正予算（第3号）	可決
	第75号	新庄市デジタル防災行政無線（同報系）整備工事請負契約（令和元年議案第41号）の一部変更について	可決
	第76号	新庄市公共下水道根幹的施設の建設工事委託に関する協定（平成30年議案第35号）の一部変更について	可決
	第77号	新庄市課設置条例の一部を改正する条例について	可決
	第78号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	チョイス4 可決
	第79号	新庄市職員恩給条例を廃止する条例について	チョイス4 可決
	第80号	新庄市民文化会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第81号	新庄市公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第82号	新庄市地域ふれあい交流広場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第83号	新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第84号	新庄市雪の里情報館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第85号	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	チョイス2 可決
	第86号	新庄市火葬場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	チョイス6 可決
	第87号	新庄市わらすこ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	チョイス2 可決
	第88号	新庄市農村環境改善センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	チョイス3 可決
	第89号	新庄市昭和活性化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	チョイス3 可決
	第90号	新庄市都市公園条例の一部を改正する条例について	可決
	第91号	新庄市新庄駅前ふれあい交流広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第92号	新庄駅東口交通広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	可決
	第93号	新庄市民文化会館の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第94号	雪の里情報館の管理を行わせる指定管理者の指定について	可決
	第95号	新庄市山屋セミナーハウスの管理を行わせる指定管理者の指定について	チョイス1 否決
	第96号	新庄市水道事業の設置等に関する条例等の一部を改正する条例について	可決
	第97号	新庄市水道給水条例の一部を改正する条例について	可決
	第98号	令和元年度新庄市一般会計補正予算（第4号）	可決
	第99号	令和元年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	第100号	令和元年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	可決
	第101号	令和元年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算（第4号）	可決
	第102号	令和元年度新庄市水道事業会計補正予算（第4号）	可決
	第103号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	チョイス5 可決
【議員提出】			
議案案	第6号	次期食料・農業・農村基本計画に関する意見書の提出について	可決

議案及び請願に対する議員の賛否

賛否の分かれた議案等をお知らせします。 ○→賛成 ●→反対

議案等番号	会派名	市民・公明クラブ			起新の会		絆の会				勁草21		日本共産党市議団		採決結果				
		山科正仁	小野周一	高橋富季子	佐藤卓也	佐藤文一	石川正志	小嶋富弥	山科春美	奥山省三	新田道尋	下山准一	今田浩徳	押切明弘		八鍬長一	叶内恵子	佐藤悦子	庄司里香
議案第80号	新庄市民文化会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決	
議案第81号	新庄市民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第83号	新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第84号	新庄市雪の里情報館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第85号	新庄市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第86号	新庄市火葬場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第87号	新庄市わらすこ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	可決
議案第88号	新庄市農村環境改善センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第89号	新庄市昭和活性化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	可決
議案第90号	新庄市都市公園条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	可決
議案第95号	新庄市山屋セミナーハウスの管理を行わせる指定管理者の指定について	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	否決
議案第103号	新庄市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
請願第5号	住みよいまちづくりの請願	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	不採択

・議長は採決に参加しません。・原案のとおり採決することについての賛否をはかっています。（新庄市議会会議規則第70条：可をもって諮ることを原則）

チヨイス1

新庄市山屋セミナーハウスの指定管理者の指定

指定管理者募集に対し、2団体の応募があったが、指定管理者候補者選定委員会の審査の結果、現在の指定管理者である「山屋有志会」が候補者として選定され、今定例会に上程された。本議案は、総務文教常任委員会に付託され、指定管理者候補者選定委員会における審査の評価内容を基に審査が行われた。審査は、市が昨年2月上旬に公表した「山屋セミナーハウスからの灯油流出事故」への危機管理体制が焦点となった。指定管理候補者の管理の下に、約3,100ℓ（推定）の灯油が流出し、対策費約2,500万円が発生していることに対する指定管理者としての危機管理体制のあり方、当該事故の損失補償のあり方に質疑が集中した。また、審査は、指定後の指定管理者の市のチェック体制などにも及んだ。常任委員会での慎重審査の結果は、賛成少数で否決すべきものと決した。また、本会議においては、委員長報告に対して、「灯油流出事故」については、全体的な市の施設老朽化等の象徴ともいえる課題であつて、当該事故の責任問題については議論がなされたか等の質疑があつたが、採決の結果、賛成少数で否決と決した。

請願の審議結果

件名	請願者	紹介議員	結果
住みよいまちづくりの請願	新庄市桧町23-1-231号室 小桧室市営住宅団地自治会 区長 和田 順	佐藤悦子	不採択
次期食料・農業・農村基本計画に関する請願	新庄市沖の町5番55号 新庄市農業協同組合 経営管理委員会 会長 山科朝則	小嶋富弥	採択

請願第5号 住みよいまちづくりの請願

産業厚生常任委員会に付託され、請願の内容及び願意は汲み取られるべきとの意見もあつたが、請願内容に基づく質疑、事実確認のもと、市では地域住民に説明を行って前向きに進んでいるという返答を得たことにより、採決の結果、賛成少数により不採択すべきものと決した。また、本会議においても、採決の結果、賛成少数により「不採択」と決した。

チョイス2
体育施設使用料、小中学生無料化へ!!
わらすこ広場も無料化へ!!

ねー、かむてん!
 4月から体育館使用料が
 小中学生無料、高校生半額
 になるって本当?

本当じゃよ。
 体育館だけじゃなく、プール、
 スキー場などすべての体育施設が、
 小中学生無料になるんじゃ!



かむてん © 新庄市 × 富樫義博



議案第85号 新庄市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 賛成多数で可決
議案第87号 新庄市わらすこ広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について 賛成多数で可決

チョイス3
Q. 農村環境改善センターと昭和活性化センターの使用料も変わるのでしょうか?
A. 両施設の多目的ホール(体育館)の利用に関しては、主にスポーツ少年団が利用している状況にある。本来の施設の設置目的は、農業経営の研修やスポーツなどを通じた地域の連帯感を高めることとされているが、小中学生のスポーツ振興やジュニアの育成等広く施設の利用拡大を図るため、小中学生は無料、高校生は半額といった減免基準を定める。

チョイス4
Q. 看護師養成所開設準備課は、今年度で廃止されるが看護師は納得しているのか?
A. 今後の処遇等について、現行条例の中で最大限対応していくという説明は、面談を行ったうえでさせていただいている。
Q. 4人の看護教員の方々には、議会決議までしてこのような結果になり、申し訳ない気持ちでいっぱいだと思います。その点を踏まえて4人の方々の意に沿った形で進めてもらいたい。その点、十二分に配慮してもらいたい。
A. 議会で議決いただいた条例に基づいて、募集し任用してきたが、結

果として看護教員として活躍できる場を提供できなかったことについては、本当に申し訳ないと感じている。教員の皆さんには条例等の中で最大限対応していく考えであり、今後、看護師の確保対策事業に向けて、ご協力をいただければと考えている。

チョイス5
Q. 県人事委員会勧告により、市職員の給与及び期末手当を0・05月引き上げとした。市三役や特別職となる議員も同様となるが、対象となるべきだろうか?
A. 確かに、国の人事院勧告、県の人事委員会勧告においては、特別職は勧告の対象外であるが、民間の給与動向を反映した勧告の内容に準じて、国の特別職、県の特別職においても同様に実施している。県内他市でも同様の措置を講じており、本市においてもこれらに準ずる改正である。

チョイス6
 新庄市火葬場使用料改定が可決
 12月6日議会初日総括質疑は無く、12月10日産業厚生常任委員会に付託された。常任委員会を経て、12月18日日本会議において委員長報告が行われた。「サービスを受ける方々から

の声を聴取し、将来的な抜本的な見直しの際に生かすべきだがどうか」「世帯収入などに合わせた使用料設定をしている自治体もある。収入によって変えるという考えはなかったか」「使用料が大幅な改定となる利用者の方から、対応を理解してもらえないようお願いしたいがどうか」等の委員の質疑があった。常任委員会の採決の結果は、賛成者多数で原案の通り可決すべきものと決し、本会議においても賛成者多数で可決した。改正使用料は令和2年4月1日より施行となる。常任委員会における環境課の答弁の通り、市民への十分な広報に努めてもらいたい。

主な改正 (市内に住所を有する者)						
		改正前			改正後	
死	体	13歳以上	1体	10,000円	一律	1体 10,000円
		13歳未満	1体	7,000円		
		3歳未満	1体	5,000円		
		小動物	1体	5,100円	小動物	1体 10,000円

一般質問

一般質問は、12月11日と12月12日の2日間、6名の議員が行いました。

質問の項目及び要旨は、質問者の通告原稿に基づき掲載しています。

12月定例会一般質問の質問者と質問事項

山科 正仁

1. 森林施策の方向性について
2. 学校の環境整備と地域連携について
3. 少子高齢化・若者定着施策の方向性について

小嶋 富弥

1. 来年度の予算編成と市政執行について
2. エコロジーガーデンについて
3. 福祉バスについて

山科 春美

1. まち・ひと・しごと創生総合戦略について
2. 市民活動に対する市の応援について



わえ、かむてん教えて

一般質問って何?

一般質問とは、議員が市政全般のことについて、執行部に質問することじゃ。



かむてん © 新庄市 × 富樫義博

八鍬 長一

1. 行政区域の飛地解消について
2. 看護専門学校開設断念に伴う諸課題について
3. 新庄最上地域の高校再編について

叶内 恵子

1. (仮)新庄市立看護専門学校設立中止と今後の対応について
2. 実質公債費比率について

佐藤 悦子

1. 小中一貫・学校統廃合は問題が多いので、やめるべきということについて
2. 気候変動、温暖化防止対策について
3. 少子化・人口減少に対する対策について

将来がみえる新庄市へ!



山科 正仁 議員

◎学校統廃合により希薄化する地域住民との連携体制をどのようにしていくのかを伺う。

教育長 地域の方には、読み聞かせボランティアとして学校の読書活動への支援、ゲストティーチャーとして授業への協力、見守り隊として安全な登下校のための活動等、様々な面で協力していただいている。また、市では、地域全体で未来を担う子供達の成長を支えていく「地域学校協働活動」を推進するため、今年度より推進員を委嘱し、地域人材のリストラ化や各学校での「ふるさと学習」での活用を図っている。萩野学園ですでに学校、家庭、地域が協働で学校運営の改善と充実を図る「学校運営協議会」が設置されており、明倫学区でも令和3年度の開校に合わせて準備を進める。次年度以降、市

内全学校で設置できるよう検討していきたい。

◎看護師養成所開設断念後の開校を期待していた市民の声と取得した用地の活用を伺う。

市長 10月以降に市内の高校生と面

談した際は「看護学校が必要だった」

「奨学金はあまり魅力的ではない」

「反対している人たちは自分たちの

目先のことしか考えていない」等の

意見をいただいた。保護者からは

「市単独が反対ならば最上郡立や民間の力を借りて設立できないのか」

「看護学校は絶対に必要である」

「住み慣れた地域で適正な医療を受けられなくなる可能性がある」「憶測

が飛び交っていた。説明不足が原因

では」等の意見をいただいた。

土地については、今後の対応につ

て検討していく必要があると認識し

ており、庁内検討組織を立ち上げた

いと考

えている。具

体的な

検討は

これか

らとな

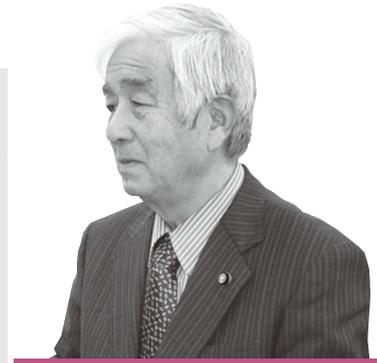
る。



明倫学区義務教育学校基本設計 南上空からの鳥瞰パース図

課題を超えて希望の持てる街に

市長 福祉バスを多く利用する団体は老人クラブと地域ふれあいサロンだが、老人クラブは会員数が減少傾向にあり、地域ふれあいサロンも14人未満のところ半数を占めている。これらの状況から、利用に必要な最低人数を10人程度に緩和する方向で検討したい。また、人数を緩和すると今以上に利用団体が増えると思う。その場合、6月や10月は今よりも平日ほぼ毎日運行しているため、調整する必要が生じると思われる。現状では早い者勝ちのように申し込まれてお



小嶋 富 弥 議員

◎福祉バスの運行運営について

利用者の方々の声を聴くと、土日の利用、14人以上でなく、10人からの利用にできないか。また、各地区（町内会）で活動している福祉団体にも利用できる様、改善の考えは。

り、不公平感の解消の面でも、登録制は非常に有効だと思うので検討したい。

◎エコロジージャーデンについて

雄大な面積と大変良いロケーションの北側の活用計画を今後どの様に図るのかお聞かせください。

市長 新庄市エコロジージャーデン第4期利用計画では、「子どもたちが元気に駆け回ることのできる遊びの場」

「伝承野菜や果実等の各種農産物の栽培や収穫を体験する学習の場」

「広々とした畑いっぱいには花が咲く彩りの場」の3つの項目を掲げており、利用者も少しずつ増加している

しかし、入園者の利便性を考慮すると最低限必要な手洗い場、休憩所等の整備も今後の課題として捉えているので、来年度以降、エコロジージャーデンのフィールドを活かした実施計画の策定に着手したい。



市長 第1期総合戦略では、人口減少を抑制し、定住人口の維持を目指す「ふるさと定住プラン」と、人口減少社会に対応し、誰もが元気で住み続けられるまちをつくる「幸せと元気のまちづくり推進プラン」を施策の基本的方向性とし、各プランに沿って事業を展開している。「ふるさと定住プラン」では、ふるさと回帰の促進、就業や企業への支援、産業振興、交流の促進、結婚活動への支援や子育て環境の整備など「幸せと元気のまちづくり推進プラン」では、冬期間の市民生活の確保、雪と暮らすライフスタイルの推進、健康づくりの推進、地域

まち・ひと・しごと創生総合戦略について



山科 春 美 議員

◎令和2年4月から第2期新庄市総合戦略がスタートするが、第1期の総合戦略の現在までの進捗状況と具体的な成果はどうか聞いたのか問う。

市長 第1期総合戦略では、

人口減少を抑制し、定住人口の維持を目指す「ふるさと定住プラン」と、人口減少社会に対応し、誰もが元気で住み続けられるまちをつくる「幸せと元気のまちづくり推進プラン」を施策の基本的方向性とし、各プランに沿って事業を展開している。「ふるさと定住プラン」では、ふるさと回帰の促進、就業や企業への支援、産業振興、交流の促進、結婚活動への支援や子育て環境の整備など「幸せと元気のまちづくり推進プラン」では、冬期間の市民生活の確保、雪と暮らすライフスタイルの推進、健康づくりの推進、地域

コミュニティの充実などの施策を展開している。それぞれ各事業に関連する重要事業評価指標（KPI）を設定しており、毎年、達成状況について総合計画審議会による外部評価をいただいている。各事業の評価では、手法や周知のあり方について再考を要するものもあるが、KPIの達成に一定の効果があり、事業の継続が望ましいとの評価を得ている。

具体的な成果については、新庄まつりを中心とした様々な祭りやイベントを通じ、新庄市にも外国人旅行者が数多く訪れるようになった。これは当地域のブランディング情報を発信するとともに、インバウンドの誘客を推進した結果として「交流の促進」が図られたものと認識している。また、空き店舗を活用した創業支援事業により新たな「しごと」が生まれ、徐々にではあるが根を張り始めている。さらに、ハローワークとの共催で実施している「合同就職面接会事業」では、昨年度96名の参加者中、13名が市内に就職が決まり、仙台市での企業紹介セミナーには市内の企業18社が出展したほか、高等教育機関の進路担当の先生も含め仙台圏在住の方23名の参加があり、この事業を通して2名が内定と、若者の地元定着・回帰促進に対する意識醸成が図られたものと考えている。

新庄最上地域の高校再編 どう対応するか



八 欽 長 一 議員

◎新庄最上地域の高校再編について

少子化に伴い、新庄最上地域の高校再編が進むと思われる。地域の将来を支えていく若者たちの人づくり、そして街づくりに大きく影響する。新庄市としての考えを問う。

教育長 市としても、高校再編はまちづくりに大きな影響を与えるものと考えている。

生徒数の減少による高校再編は、全国的・全県的な課題であり、やむを得ないところもあるが、再編に伴う教員などの学校関係者の減少など人口減少に拍車がかかることが想定されるとともに、閉校となる高校の施設または跡地の活用方法について課題が出てくる。県の「県立高校の再編整備に関する基本方針」では学級の削減方針が明確に示されているので、将来的な生徒数

の減少を見据えた検討を行っていく必要がある。県から示される再編整備計画案などを注視しながら、市の政策との整合性や効果的な事業展開を図るための検討を的確に行っていく必要がある。

◎看護専門学校開設断念に伴う諸課題について

10月7日市長から突然の開設断念発言、市報では「中止」としている。その意図は何か。また、市民の目は大変きびしい、人と予算をかけ8年間引つ張ってきた責任はどうか。

市長 これまで多くの関係者に支えていただきながら事業に取り組んできたが、一番大切な機関からの協力が得られなくなり、設置に向けた取り組みを続けることは困難と判断し、設置を断念することとした。事業としては途中で止め

ることにするため、「中止」という表現が適当であるとして、市報でお知らせしたものである。

具体的な再編整備を進める上での課題

- ①新庄市内の高校配置
- ②3分校の在り方
- ③定時制の在り方

山形県教育庁高校改革推進室
「最上地区の県立高校再編整備地域説明会」資料より引用

なぜ断念するのですか？



叶 内 恵 子 議員

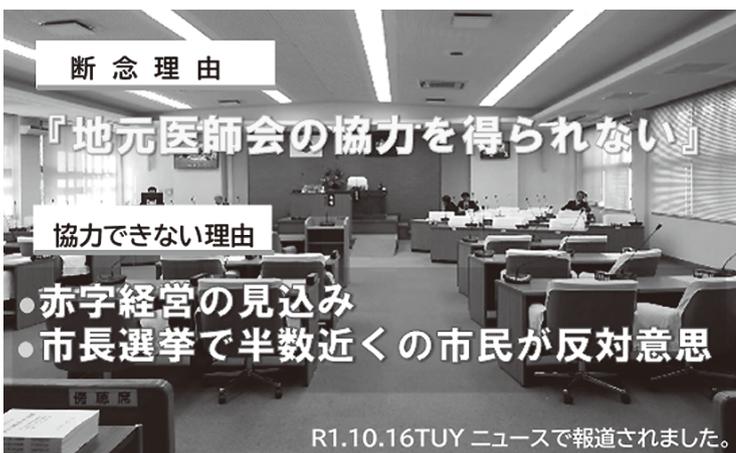
◎市長は看護学校開設事業を強気に推進するという明確な意思表示をしていた。しかし、突然「断念」を表明した。『医師会の協力が得られない』ことを理由としていたが、『諸要件』という言葉に変わったのはなぜなのか。

市長 これまで多くの関係者に支えられながら、地域の看護師不足の解消、若者の地元定着を目指し取り組んできたが、一番大切な機関である新庄市最上郡医師会からの協力が得られなくなり、これ以上開設に向けた取り組みを続けることは困難と判断した。県から看護師養成所の指定を受けるためには、関係機関からの同意が必要となるほか、非常勤講師の確保や実習計画にも大きく影響することから、諸要件を整えることが困難になったという趣旨であり、理

由が変わったということではない。◎医師会の協力を得るためにどのような努力をしたのか。

市長 医師会には、これまで随時、状況の説明を行ってきたところであるが、医師会という独立した組織での意思決定を行った。総合的に判断したと考えている。

関係機関である医師会との経過についてはこれまで議会に状況報告を行ってきたが、医師会としては予算案が可決されない状況では次の段階に進めないとお話をいただいたので、市としては、予算成立に向けてこれまで取り組んできた。



断念理由

『地元医師会の協力を得られない』

協力できない理由

- 赤字経営の見込み
- 市長選挙で半数近くの市民が反対意思

R1.10.16TUY ニュースで報道されました。

小中一貫・学校統廃合はやめるべき



佐藤悦子 議員

◎本市では、今後、新庄小学校を施設一体型の一貫校にする計画を公表。また本合海小、升形小、八向中について学校統廃合の方向に向かおうとしている。小規模校こそ個に応じた豊かな学力を保障してきているのではないか。小中一貫校では、小六の意識、中一の自覚を持たせられない。小・中それぞれの発達段階を保障した教育実践がしにくくなる。

教育長 本市の教育の柱として「小中一貫教育」の推進を掲げ、9年間の継続した指導により「個」を大事にする情豊かな人間性あふれる新庄人を育む教育を実現していくことを目指している。その柱をもとに、新庄市立学校施設整備計画では、今後の学校施設の整備においては各中学校区に小中一貫教育校を整備す

ることを基本に進めるとしている。なお、八向中学校区については、構成3校の小規模義務教育学校、新庄中学校区義務教育学校への合併、新庄中学校区及び日新中学校区義務教育学校への分割合併の案を示しているが、その方向付けへの協議に相応の時間が必要と考えられることから構成3校については、主に長寿命化を図る計画である。小中一貫校の教育効果については、開校5年目となる萩野学園から様々な成果が報告されている。主な内容としては、4-3-2のブロック制による中1ギャップの解消、9年間の縦のつながりを重視した異年齢交流による社会性の向上、中期ブロックからの教科担任制による専門性を生かした教育の充実などが挙げられる。義務教育学校のよさである9年間を見通した教育課程を編成することにより、これまでの小学校と中学校の教育文化を統合させながら、連続性と一貫性のある教育活動が行われている。

小・中学校教諭の平均的な勤務の状況

	小学校	中学校
定められている勤務時刻	8:15~16:45	
出退勤時刻の平均	7:30~19:01	7:27~19:14
1日当たりの学内勤務時間	11時間15分	11時間32分
一人あたりの年次有給休暇取得	11・6日	8・8日

出典「公立小・中学校教員勤務実態調査研究」報告書

行政視察報告

市民・公明クラブ

1. 視察日程
令和元年11月5日～7日

2. 視察内容と視察先

① 廃校校舎利活用の経緯、地域の教育資源を活用した学習について
(広島県江田島市)

② レセプトのデータベース化導入による国民健康保険、保健事業の取り組みについて (広島県呉市)

③ 空き家再生プロジェクトの取り組みについて (広島県尾道市)

3. 視察参加議員

山科正仁(代表)・佐藤卓也・高橋富美子・佐藤文一

4. 所感

江田島市の「さとうみ科学館」は、町制45周年記念事業として「大柿町海辺の生き物調査団」が発足、身近な生物を調べていく中で自然に親しみ、自然に学ぶ活動を行って来た。記念事業は期限付きだったが、今後も自然体験活動を継続、活用する為、廃校となった旧堀江小学校校舎で運営しているとの事。新庄市内にも廃校予定の校舎がある。環境面、コスト面からみても、利活用出来る校舎は十分にあるように思える。次に、呉市における保健事業の取組みについて、これには、レセプトのデータベースが必要不可欠の考え方だった。医師会、薬剤師会、コストの問題等、様々な課題も数多く上

げられた。最後に尾道市の空き家再生プロジェクトについて、空き家再生の内容はというと、まちづくりが考え方の最初にある。というのが特徴的だった。ここにはこういう物件が必要だ。だからこの空き家をリフォームし売り出す。的な考え方。多少の先行投資は必要なのかもしれない。現在は、若い夫婦も増え、子供達の遊ぶ声も聞こえるようになったという。



起新の会

1. 視察日程

令和元年7月10日～12日

2. 視察内容と視察先

① 北陸新幹線開業による経済効果について (石川県金沢市)

② 婚活支援 定住・移住対策と小規模多機能自治の推進について (富山県南砺市)

③ 在宅医療・介護連携体制推進事業について (富山県高岡市)

3. 視察参加議員

小嶋富弥・石川正志(代表)・山科春美

4. 所感

北陸の中心都市の金沢市はH27年の北陸新幹線の金沢開業より入込数が1千万の大台を超えたとの事。人口も歴史も当市とは大きな違いはあるが、地域の伝統や歴史に誇りを持ち金沢の良さをPRして行くという気迫が町全体から感じられた。当市も誇るべきもの(自然・食・食べ物・新庄まつり等)が沢山あるのでPR力を向上して行けたらと感じた。南砺市の「南砺で暮らしませんか! (課)」という課は、婚活支援、定住・移住対策を行う課。フンストップ窓口体制での対応で好評を得ていた。また婚活支援を支える「婚活応援隊 おせつ会さん」は仲人さんのように縁結びの大きな役割を果たしていた。高岡市の地区包括支援センターは、高齢者が住み慣れた地域で安心して過ごすことが出来るよう、総合的支援を行う機関として、地元「医師会」からの全面協力のもとシステムが構築された。

当市の地域実情にあった施策を打ち出すための大きな参考となった。



絆の会

1. 視察日程

令和元年7月23日～25日

2. 視察内容と視察先

①新しい「農」と「食」のプロジェクト (徳島県神山町)

②サテライトオフィスプロジェクト事業による定住促進、人口増加事業 (徳島県三好市)

③観光協会による移住、交流事業 (徳島県阿波市)

3. 視察参加議員

奥山省三(代表)・新田道寛・下山准一・今田浩徳・押切明弘

4. 所感

徳島県内の3つの地域を中心に定住促進、移住交流事業について視察したが、高齢化、人口減少が進み地域が衰退していることが感じられた。東京、大阪に本社が有る会社の支店を地元へ開設して地域に活力を取り戻す、この事業は、徳島県内では5市に31社が進出し、27年度で56名の地元雇用を創出している。公設民営方式の光CATVを全県域に整備し、全国屈指の高速ブロードバンド環境を実現したことによる効果が大いといえる。オフィス開設、運営費用への補助などの支援も充実している状況である。地方における安定した雇用の創出、地方への新しい人の流れをつくる点では画期的な事業といえる。東北ではこの事業に対する関心が低いという気候等の関係もあると思うがまだまだのようだ。このよ

うな事業が展開できるのは国、県、自治体、さらに地域の住民が一体となつて、取り組まなければ出来ないことだと感じた。



勁草21

1. 視察日程

①令和元年8月8日～9日

②令和元年8月18日～19日

2. 視察内容と視察先

①川崎市立看護短期大学の視察 (神奈川県川崎市)

②山梨県富士吉田市立看護専門学校
の視察 (山梨県富士吉田市)

3. 視察参加議員

八鍬長一(代表)・叶内恵子・小関淳

4. 所感

富士吉田市立看護専門学校 開設から現在の運営状況について



富士吉田市は、富士山の山梨県側の裾野に位置する人口4万9千人の市である。新庄市が計画した養成学校と同じ3年生の看護専門学校を平成8年4月に開校している。開設にあたっては、①市立の病院を持つていることから看護師の確保対策が必要だったこと。②地元医師会との連携がうまくいったこと。③県の医療計画と合致し、県からの支援・補助(現在 年2千3百万円の補助金)があったことなど、条件が整っていた。開設時の定員は1学年50名で総定員150名でしたが、現在は首都圏の看護大学との獲得競争もあり115名となっている。学校経営に係る平成30年度決算では、歳入金は2億1千9百万円、うち一般会計からの繰入金金は1億7千万円、県補助金2千3百万円となっている。学校敷地2万m²の中に3階建ての校舎と体育館、そして無料駐車場。新庄市の計画はこれだけいいのかと考えさせられた。

この声届け!

第14回議会報告会から

14回目となる議会報告会を12月2日(月)、3日(火)、4日(水)の3日間、市内9会場で開催しました。いただいた数多くのご意見やご要望を集約・整理したものを、議会の総意として、回答をもらうべく市長部局に伝えたとところです。以下、その要約を掲載いたします。

市政に対する要望・提案

【総合政策課】

■循環バスについて

・現在山交バスは子供の通学用に特化され、一般者が利用できる状況ではなく、鳥越地区は運行していない。循環バスを公共交通空白地域をカバーできるよう運行することは出来ないのか。(鳥越公民館)

■定住推進について

・定住促進を図るために、保育の充実や住居への補助などを更に進めるべきではないか。(鉄砲町公民館)

■看護師養成校について

・購入した用地はどのように活用するのか。(萩野地区公民館)

■出前講座について

・スマホなどICTについての出前講座を開いていただけないか。(萩野地区公民館)

■使送について

・回覧板の総部数が多い現状であり、区長の負担軽減の面から必要最低限の内容作成は出来ないのか。(北町公民館)

【環境課】

■災害時の対応について

・水害と地震と一緒のハザードマップの作成をはいかがでしょうか。(川西町公民館)

・旧ゲートボール場の活用など実際の災害を想定し、避難場所の再考が必要ではないか。(川西町公

民館)

■消防団について

・自主防災組織立ち上げの予定をしているが、同じ地域に複数の消防団を抱える課題や消防団員数の減少の課題もあり、消防団の再整備をお願いしたい。(鳥越公民館)

■除排雪について

・国道沿いの消火栓(山形丸魚前と小松フォークリフト前)が冬期間雪で埋もれており、緊急時の対応が出来なくなる恐れがあるので点検してほしい。(鳥越公民館)

■防犯委員について

・防犯委員など関連活動費に対する市の補助金増額をお願いしたい。(北町公民館)

■空き家対策について

・年々空き家が増加しているので空き家対策を強化してほしい。(北町公民館)

【成人福祉課】

■民生委員について

・現在6地域(小泉、梅ヶ崎、中山、一本柳、月岡、小月野)で一人は少ない。高齢者が増え、巡回しやすいように地区に於いても協力をするので3地域で一人を置くなど増員することは出来ないのか。(小泉公民館)

■ボランティアの協体制度について

・台風19号で被災した地域の復興のために、民間ボランティアが活動しやすいようにワンストップ対応(窓口対応等)ができるような協力

体制をお願いしたい。(関屋公民館)

【健康課】

■温泉について

・市内に温泉がない。今後どのような動きがあるのか教えてほしい。(升形公民館)

【農林課】

■農業振興について

・8月に大きな災害もあり、大きな被害を受けた農家のために、しっかりと寄り添い、大規模農家だけではなく、家族型農業の小さな農家の話を聞き、地域の実情に合った農業振興をお願いしたい。(小泉公民館)

【商工観光課】

■新庄まつりについて

・祭りを通じて経済効果が増加しているとのことだが、その恩恵が感じられない。今後のまつり継続のために、ふるさと納税からの繰入増額やスポンサー制度導入などによる寄附金など更なる支援強化を考えていただきたい。(末広町公民館)

【都市整備課】

■道の駅について

・「道の駅」の実現化に向けての進捗状況はどのようになっているのか。(小泉公民館・萩野地区公民館)

■除排雪について

・高齢者の為にも丁寧な間口除雪



を県道・市道を問わず行つてほしい。(鉄砲町公民館・末広町公民館)

【教育総務課】

■八向地区小中学校について
八向地区における小中学校のあり方についての指針を示してほしい。(升形公民館)

【社会教育課】

■公園整備について

地域の協働をするために努力は惜しまないので、年次計画を含めた鳥越八幡公園の再整備をお願いしたい。(鳥越公民館)

■マラソン大会について

ハーフマラソン大会の参加者の減少の理由をどのように考えているのか。街の中心を走ってもらえれば参加者が増えるのではないかと。(北町公民館)

■八向地区公民館の改築促進について

早期の改築をお願いしたい。(升形公民館)

■図書館について

図書館の駐車場が狭いので、改善できないのか。(市民プラザ駐車場が満車の時があり、利用できない場合がある)(萩野地区公民館)

専門職大学設置要望書！

議長 下山 准一

東北初となる農林系専門職大学の新庄市への設置が決定しました。この専門職大学の最上地域への設置については、これまで、県に對し、最上8市町村、議会のほか農業団体、経済団体などと連携した誘致活動を実施してきました。また、市議会でも、独自の要望活動に取り組みできました。

今回の決定は大変、喜ばしく思っております。しかし、大学設置が最終目標ではありません。大学と地域が連携し地域産業の発展につなげて行くことが重要です。開学後を見据え、議会として、執行部と議論を重ねながら、この地域の活性化に努めてまいります。



令和元年度県市議会議長会 議会報研修会に参加しました

去る11月11日(月)山形県市議会議長会主催による議会報研修会に編集委員6名にて参加して参りました。毎年、県内13市の議会報編集委員が一堂に会し、研修会が開催されております。本年の開催市は東根市でした。山形新聞社東根支社長の講師による「伝わる文章 読んでもらえる議会報作り」というものでした。限りある紙面だからこそ、どの世代にも読みやすい文章として行くこと、そして、見出しを見ただけでも記事の重要な内容を伝えることの大切さを伺うことができました。研修においては、13市それぞれの議会報について、講師の視点での評価・感想をいただくのですが、当議会報については、本年4月に改選があったこともあり、議会メンバーの顔触れを表面にしたことについて、好感触の講師の評価をいただきました。これは最近のことですが、「議会」で課題として議論されたことをもとと掲載してほしい「議員の一般質問内容をすべて掲載すべきではないか」などの声を市民の皆様より頂いております。議会報は、市民の皆様と議会を繋ぐ架け橋であります。市民の皆様が「知りたいこと」そして市民の皆様からの信託を受けている議員一人ひとりの議会活動の様子について、創意工夫を重ねながら、伝えてまいります。今後、新庄市議会報について忌憚のないご意見を賜いますようお願い申し上げます。



去る11月11日(月)山形県市議会議長会主催による議会報研修会に編集委員6名にて参加して参りました。毎年、県内13市の議会報編集委員が一堂に会し、研修会が開催されております。本年の開催市は東根市でした。山形新聞社東根支社長の講師による「伝わる文章 読んでもらえる議会報作り」というものでした。限りある紙面だからこそ、どの世代にも読みやすい文章として行くこと、そして、見出しを見ただけでも記事の重要な内容を伝えることの大切さを伺うことができました。研修においては、13市それぞれの議会報について、講師の視点での評価・感想をいただくのですが、当議会報については、本年4月に改選があったこともあり、議会メンバーの顔触れを表面にしたことについて、好感触の講師の評価をいただきました。これは最近のことですが、「議会」で課題として議論されたことをもとと掲載してほしい「議員の一般質問内容をすべて掲載すべきではないか」などの声を市民の皆様より頂いております。議会報は、市民の皆様と議会を繋ぐ架け橋であります。市民の皆様が「知りたいこと」そして市民の皆様からの信託を受けている議員一人ひとりの議会活動の様子について、創意工夫を重ねながら、伝えてまいります。今後、新庄市議会報について忌憚のないご意見を賜いますようお願い申し上げます。

【上下水道課】

■水道事業について

水道料金の減額をお願いしたい。(北町公民館)

●開催場所及び参加人数●

・ 関屋公民館	18名
・ 鉄砲町公民館	14名
・ 萩野地区公民館	23名
・ 小泉公民館	15名
・ 末広町公民館	6名
・ 升形公民館	16名
・ 川西町公民館	14名
・ 鳥越公民館	9名
・ 北町公民館	13名
計	128名

●沢山の方にお越し頂き、ありがとうございました。



12月定例会に多くの方が傍聴に訪れました。一般市民6名のほか、北辰小学校から6年生20名、萩野学園から6年生46名、合わせて72名の方が議場を訪れ、議員と執行部のやり取りに熱心に耳を傾けていました。



※12月11日10時から11時まで傍聴いただきました。傍聴時は一般質問が行われていました。



※12月12日10時から11時まで傍聴いただきました。傍聴時は一般質問が行われていました。

議会を傍聴した感想文をいただきました

北辰小学校6年 栗田 光一郎 君

初めて議会見学に行き、一番最初におどろいたのは、天井にカメラが付いていたことです。議場の様子が画面に映し出されていて、とても高性能だなと思いました。それから、議員さんたちの様子を見て、市民のための議会なんだと強く感じました。たくさんの話し合いをして、物事が決められていることが分かりました。学校に関する内容もあり、「子どもが第一」という考えが伝わってきました。座席の配置が、話し合いがしやすいように工夫されていて、勉強になりました。

萩野学園6年 星川 慧十 君

ぼくは、今回初めて市議会を訪問して特に思ったことが2つあります。一つ目は、ほとんどの人が真剣に話を聞いていて、ぼくたちの話し合いにも取り入れたいと思いました。二つ目は、話す人が少なかったことです。ぼくが見たのはたったの四人と少なく感じました。おもしろかったけれど、もっと他の人も話せる市議会が見たかったです。

3月定例会の予定

- 2月19日(水) 請願締切
- 3月3日(火) 開会
- 4日(水) 一般質問 **中継あり**
- 5日(木) 一般質問
- 6日(金) 常任委員会
- 9日(月) 常任委員会
- 10日(火) 予算特別委員会
- 11日(水) 予算特別委員会
- 12日(木) 予算特別委員会 **中継あり**
- 17日(火) 最終日

開会は10時です ◇請願は随時受け付けております。

議会を傍聴してみませんか？

どなたでも傍聴できます。受付簿に住所・氏名を記入していただくほかは面倒な手続きはありません。団体の方は事前に議会事務局までご連絡ください。ぜひ、市役所3階議場に足を運んでください！また、市民の皆様のご意見をお聞かせ下さい。

パソコンのほかに

スマートフォン・タブレットでも市議会ネット中継が視聴できます！



◆市議会◆
インターネット中継



ウェブサイト検索

新庄市議会 中継

検索

市議会の様子をインターネット中継しています。市役所の市民課フロア、市民プラザでも視聴できますのでぜひご利用ください。

※約1週間後に、録画したものがインターネットで視聴できます。

あどがき



新春を迎え、心新たにスタートですね。昨年は選挙の年ということで、新庄市議会でも5名のニューフェイスが入り、私も含みますが、議会に新しい風が吹いたのではないのでしょうか。(令和の風と言っべきかもしれませんね)ところで、私は小・中学生の頃、父の仕事の関係で新潟に住んでいたのです。雪深く、冬はスキーやそり遊びが日課でした。人口5千人程の小さな町にスキー場が10ヶ所以上あり、子ども達はどのスキー場でもリフトは全て無料でした。そのせいか今でもスキー関連の仕事についている友人が何人もいます。今は引退していますが、プロのスキーヤーになった人もいました。来シーズンより市民スキー場も小中学生は無料となり、高校生は半額です。ぜひとも行って、雪と戯れてほしいと思います。子ども達の可能性は無限大です。スポーツに勉強に遊びにと、その力を発揮してもらいたいと心から思います。得意なことが一つあるだけでもこの先の人生楽しいことがあると思いますよ。まずは行動からです。(記 庄司里香)

議会報編集委員の紹介

- | | | |
|------|------|------|
| 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 佐藤卓也 | 佐藤文一 | 押切明弘 |
| 山科里香 | 庄司春美 | 叶内恵子 |

